

# 滋賀県道路整備マスタープラン

## [ 概 要 版 ]



平成15年4月

滋賀県土木交通部道路課

## 目 次

はじめに	1
対象期間	1
対象道路	1
. 道路整備の基本方針	2
- 1 . 5つの政策目標	2
1 . 既存産業の振興と新規成長産業の育成・支援による県内産業の活性化	2
(1) 産業活動を支援する道路整備	2
(2) 新規成長産業の育成・誘導を図る道路整備	2
(3) 観光振興を支援する自転車道を含めた道路整備	2
2 . 誰もが安心・安全に暮らせる優しい県土の実現	3
(1) 交通事故の抑制	3
(2) 誰もが利用しやすく、人に優しい道路整備	3
(3) 救急医療や福祉活動を支える道路整備	3
(4) 異常気象時や災害時における信頼性の高い道路整備	3
3 . 個性と潤いのある生活空間の創造	4
(1) 地域特性を生かした道路空間の整備	4
(2) 新しい時代に対応したインフラ整備	4
4 . 環境に対する負荷の軽減	5
(1) 沿道環境の改善と新しい道路環境の創出	5
(2) 地球環境に対する負荷の軽減	5
5 . 地域の自立的発展の支援と教育・文化の育成	6
(1) 地域の一体性を保持し、市町村合併を支援する道路整備	6
(2) 交流機能の強化とたまり機能を生かした地域の活性化	6
(3) 教育・文化を育成する広域ネットワークの整備	6
- 2 . 政策目標を実現する道路ネットワークの形成	7
(1) 地域間を連絡する環状道路網の形成	7
(2) 県外との交流を促進する放射状道路の整備	7
(3) 地域内での利便を高める幹線道路や生活道路の整備	7
(4) 公共交通機関と連携した総合的な交通システムの構築	7
(5) 人や自転車を主体とした交通ネットワークの形成	7
. 政策目標実現への取り組み方	8
1 . 効果が目に見える道づくり	8
(1) 道路整備の重点化による選別投資と優先順位の明確化	8
(2) 地域の実態に即した構造規格の弾力的運用	8
(3) ストックを活用した効率的整備と既存施設の計画的修繕	8
2 . わかりやすく、愛着の持てる道づくり	9
(1) オープンな行政運営と意思決定に対する住民参加の推進	9
(2) 住民が愛着を持ち守り育てるシステムの形成	9
3 . 自然環境や生活環境に配慮した道づくり	9
(1) 自然環境への配慮	9
(2) 生活環境への配慮	9
. 各地域の道路整備計画	10
用語集	11

## はじめに

滋賀県は、近畿、中部、北陸の各地域を結ぶ交通の要衝として、その地理的優位性を背景に、全国でも有数の内陸工業県として発展してきました。

一方、県南部での急激な人口と産業の集積は、交通事故の多発や慢性的な交通渋滞を招き、さらに近年の経済構造の変化に伴い製造業が停滞するなど本県の経済を取り巻く状況は厳しさを増しています。安全安心で活力と魅力溢れる県土を実現するためには、新たな時代に即した社会基盤整備の方向性を見出すことが大きな課題となっています。

これからの社会資本整備は、厳しい財政状況が予想される中で、行政の説明責任を果たし、環境こだわり県として環境に配慮しつつ、事業の透明性を高め、一層のコスト縮減を図りながら、利用者である県民の満足度を評価基準とした事業の選択と集中により効果的・効率的な整備が求められており、これまでに整備された社会資本についても、その機能が十分発揮されるように、計画的で効率のよい維持管理を行う必要があります。

「滋賀県道路整備マスタープラン」は、策定過程でのアンケート調査や有識者・道路利用者・公募県民で構成される懇談会など、県民の方々との協働による取り組みを通し、県内各地域毎に策定する具体の実行計画である「アクションプログラム」と一体となって、「どこに、どんな道路が、いつまでに必要か」を明らかにするものです。

限りある財源の中で、真に必要な道路整備を無駄なくスピーディーに進めるための基本方針とその取り組み方を示しています。

## 対象期間

概ね今後の20年間を対象とし、5年を目安として適切な時期に見直すこととします。

## 対象道路

高速道路から都市計画道路を含む主要な市町村道までを対象とします。

## ・道路整備の基本方針

### - 1. 5つの政策目標

地理的優位性に加え、豊かな資源（自然環境、歴史文化、人的資源）を生かした3K（環境、健康福祉、観光）+BI（バイオ、IT）といった新規成長産業の振興を軸とした、本県の将来方向を踏まえた5つの政策目標を掲げ、これらを実現するための方策を示します。

#### 1. 既存産業の振興と新規成長産業の育成・支援による県内産業の活性化

円滑な物流の確保と、幹線道路や鉄道駅への連結強化を図り、既存産業の振興と新規成長産業の誘導と育成を支援します。

##### (1) 産業活動を支援する道路整備

円滑な人や物の流れを実現するために交通渋滞の解消を図ります。

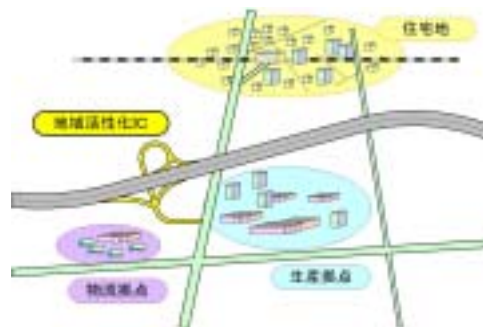
- ・ 渋滞が著しい交差点等の改良
- ・ ボトルネック踏切の立体交差化や拡幅
- ・ マルチモーダル施策の推進
- ・ 交通管理者（警察）との協力による円滑な公共交通システムの構築
- ・ 交通需要マネジメント（TDM）施策の推進



##### (2) 新規成長産業の育成・誘導を図る道路整備

県内外へのアクセス利便性を高めることにより交流・連携機能の強化を図ります。

- ・ 広域交流を促進する追加インターチェンジの整備
- ・ 鉄道駅や高速道路インターチェンジへのアクセス道路の整備
- ・ 県内拠点間のネットワークを強化する幹線道路の整備



##### (3) 観光振興を支援する自転車道を含めた道路整備

観光まちづくりや琵琶湖周遊のための自転車道を含む道路整備を図ります。

- ・ 鉄道駅や高速道路インターチェンジと観光拠点を結ぶアクセス道路の整備
- ・ 観光拠点を中心にウォーキングやサイクリングができる道路の整備
- ・ 安全、快適に琵琶湖を一周できるサイクリングロードの整備
- ・ 外国人を含め誰にも分かり易い案内標識の整備



## 2. 誰もが安心・安全に暮らせる優しい県土の実現

道路空間における安全性の向上と、移動手段としての道路の確実性や定時性を確保するとともに、誰もが安心して安全に暮らすことのできる道路整備を進めます。

### (1) 交通事故の抑制

年々増加する交通事故の抑制に努め、安全な生活空間の形成を図ります。

- ・ 事故多発地点での安全総点検
- ・ 「あんしん歩行エリア」などの事業の取組
- ・ 事故危険箇所における交通安全対策の充実
- ・ 通学路を中心とした歩道整備の推進



### (2) 誰もが利用しやすく、人に優しい道路整備

すべての人が利用しやすく安全で快適な道路環境の形成を図ります。

- ・ 既設歩道の段差や急勾配の解消をはじめとした歩行空間のバリアフリー化
- ・ 低床バスに対応した停留所の設置などの移動に関するバリアフリー化
- ・ 車いすやベビーカーなどがすれ違える幅員の広い歩道の整備
- ・ 電柱や照明灯等の共有化による有効幅員の確保
- ・ 駅や公共施設を中心とした歩道ネットワークの形成



### (3) 救急医療や福祉活動を支える道路整備

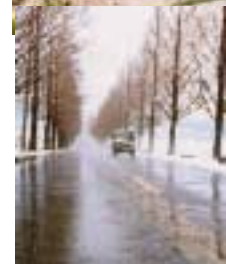
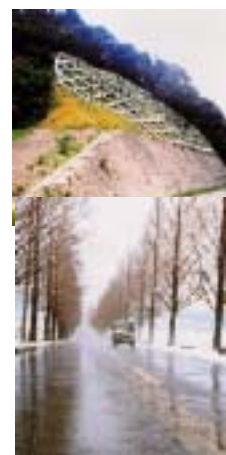
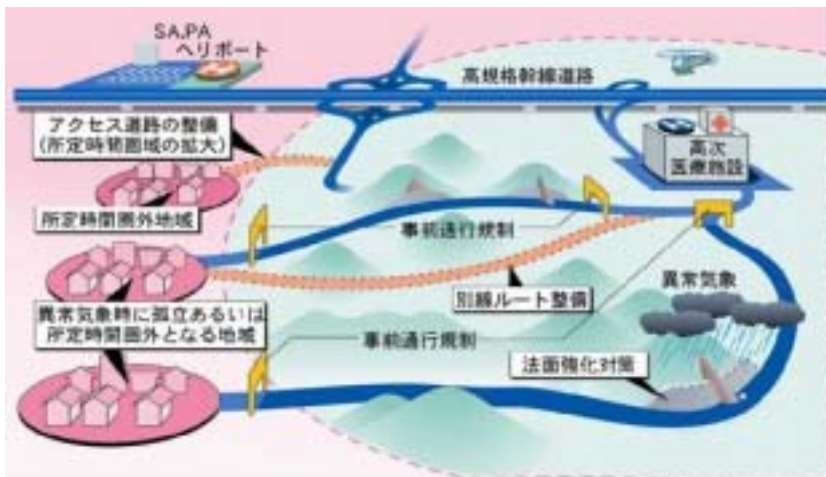
住民生活を支える施設や地域へのアクセス性を高め、安心できる生活環境の確保を図ります。

- ・ 山間・過疎地域へ医療・福祉などのサービスエリアを拡大するために必要な道路整備
- ・ 救急医療施設周辺の道路整備と高規格道路とのアクセス強化

### (4) 異常気象時や災害時における信頼性の高い道路整備

地域の孤立化を防止し、住民の生活と生命を守る信頼できる道路の整備を図ります。

- ・ バイパス等による整備とあわせ、落石や崩土危険箇所での防災対策の推進
- ・ 融雪・消雪施設や除雪体制の強化による積雪・降雪時の通行確保
- ・ 橋梁など重要構造物の耐震性強化
- ・ 緊急輸送道路の確保



### 3. 個性と潤いのある生活空間の創造

オープンスペースとしての機能を持つ道路空間に着目し、ライフラインの収容空間として、また、まちづくりなどの地域の個性を表現する場として、個性と潤いのある生活空間を提供するまちづくりを進めます。

#### (1) 地域特性を生かした道路空間の整備

地域の個性や景観を表現する、魅力ある街並みの形成を図ります。

- ・ 市街地などでのポケットパーク整備や道路緑化
- ・ コミュニティ道路の整備
- ・ 地域の歴史や文化に配慮した道路の修景



#### (2) 新しい時代に対応したインフラ整備

ライフラインの収容空間としての機能強化とともに潤いのある道路空間の形成を図ります。

- ・ 電線類の地中化による無電柱化
- ・ 光ファイバーなど情報インフラの地下空間への収納



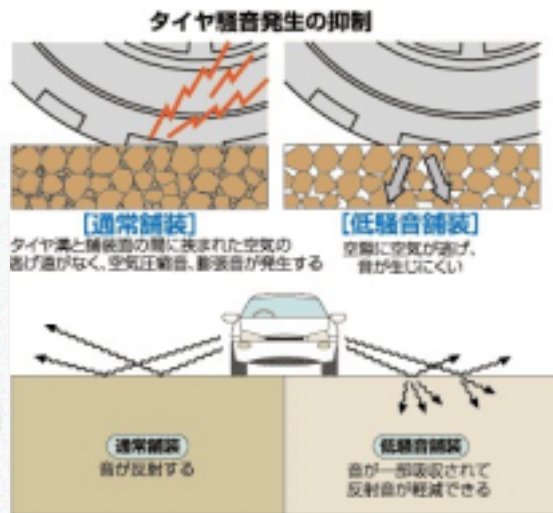
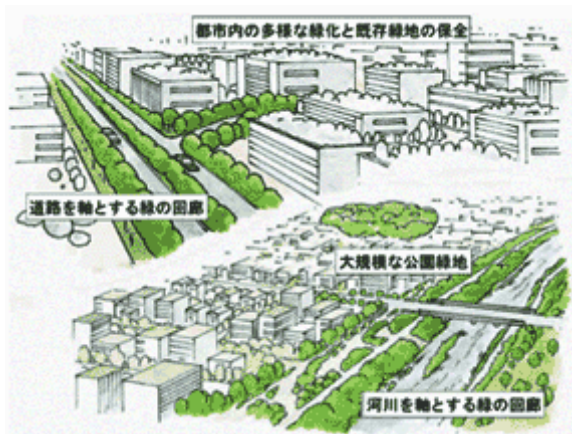
## 4. 環境に対する負荷の軽減

騒音を低減する舗装等の使用や渋滞対策の促進により、沿道生活環境の改善と地球環境に対する負荷の軽減を図ります。

### (1) 沿道環境の改善と新しい道路環境の創出

騒音や振動の抑制、連続した道路緑化などにより、良好な沿道環境への改善を図ります。

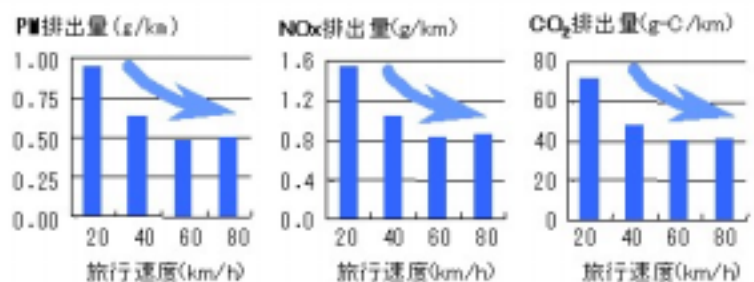
- ・ ヒートアイランドの抑制し、水循環の改善を目的とした透水性舗装の採用
- ・ 初期路面排水を処理する排水柵の設置の検討
- ・ 市街地や人家密集地を迂回するバイパス整備
- ・ 高機能舗装による騒音や振動の低減
- ・ 連続道路緑化による「緑の回廊」構想の実現
- ・ 長大法面を利用した道路のエコアップ



### (2) 地球環境に対する負荷の軽減

円滑な交通の確保により自動車からのCO<sub>2</sub>排出を抑止し、地球温暖化の防止に貢献します。

- ・ TDM施策やマルチモーダル施策によるCO<sub>2</sub>の削減
- ・ 渋滞箇所の解消による旅行速度の向上
- ・ リサイクル等による資源の有効利用



## 5. 地域の自立的発展の支援と教育・文化の育成

魅力ある地域づくりを進め、地域の一体性や交流機会の拡大による地域の自立的発展を支援する道路整備を推進します。

### (1) 地域の一体性を保持し、市町村合併を支援する道路整備

地域内および行政圏内での生活サービス格差の是正を図ります。

- ・ 市町村合併支援道路の整備
- ・ 福祉施設やゴミ処理場などの行政サービス拠点へのアクセス性を向上するための道路整備



### (2) 交流機能の強化とたまり機能を生かした地域の活性化

交流機会の拡大により地域の自立的発展を促す基盤形成を支援します。

- ・ 地域間交流を促進するための追加インターチェンジの設置
- ・ 憩い・交流・情報発信の場としての「道の駅」の整備



### (3) 教育・文化を育成する広域ネットワークの整備

公共交通機関と連携した広域ネットワークを強化し、新たな教育機会の増大を図ります。

- ・ 中部圏をはじめとする、歴史的に繋がりが深い近隣府県とを結ぶ県際道路の整備
- ・ 県際交流の復興を支援するための公共交通機関との連携強化



## - 2 . 政策目標を実現する道路ネットワークの形成

5つの政策目標を実現するため道路が本来もつネットワーク機能を最大限に発揮する道路整備を推進します。

### (1) 地域間を連絡する環状道路網の形成

琵琶湖を取り囲むように位置している市街地を連絡する環状道路網として、国道1号、8号、161号といった広域幹線道路の整備を促進します。

### (2) 県外との交流を促進する放射状道路の整備

県外との交流を促進するため、第二名神高速道路、名神名阪連絡道路や国道303号、421号といった放射状道路の整備を図ります。

### (3) 地域内での利便性を高める幹線道路や生活道路の整備

日常生活での利便性を高めるため、地域内での道路ネットワークを構成し、環状道路網や放射状道路を補完する国道や主要地方道等の整備を進めます。

### (4) 公共交通機関と連携した総合的な交通システムの構築

鉄道や路線バスといった公共交通機関を積極的に支援することで、多様な交通システムを誰もが円滑に利用できる総合交通体系の構築を目指します。

### (5) 人や自転車を主体とした交通ネットワークの形成

駅周辺や中心市街地などでは、国、県、市町村などの道路管理者間での調整により、連続した歩道ネットワークの形成を図り、人の移動を主体とした交通ネットワークの形成を図ります。



## 政策目標実現への取り組み方

財政状況が厳しい中、事業の効率性と透明性を高め、維持管理費を含めた整備コストの一層の縮減と、県民にとって道路の整備効果が「目に見え」、意思決定過程が「わかりやすく」、道路に「愛着がもてる」道路整備を基本に、自然環境と生活環境に配慮した道づくりを推進します。

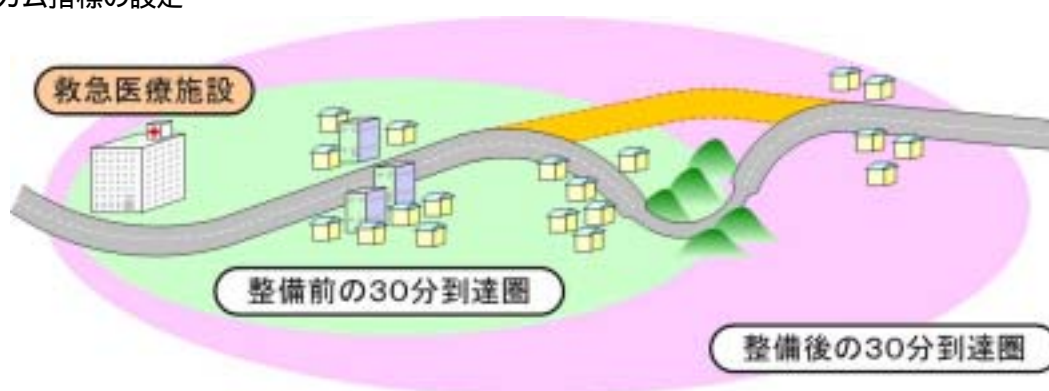
### 1. 効果が目に見える道づくり

既存道路の有効活用や客観的評価に基づく道路投資の選択と集中を図り、道路整備効果の早期発現を目指します。

#### (1) 道路整備の重点化による選別投資と優先順位の明確化

投資効果や県民生活への影響を客観的・定量的に判断し、選択的・重点的に道路整備を進めます。

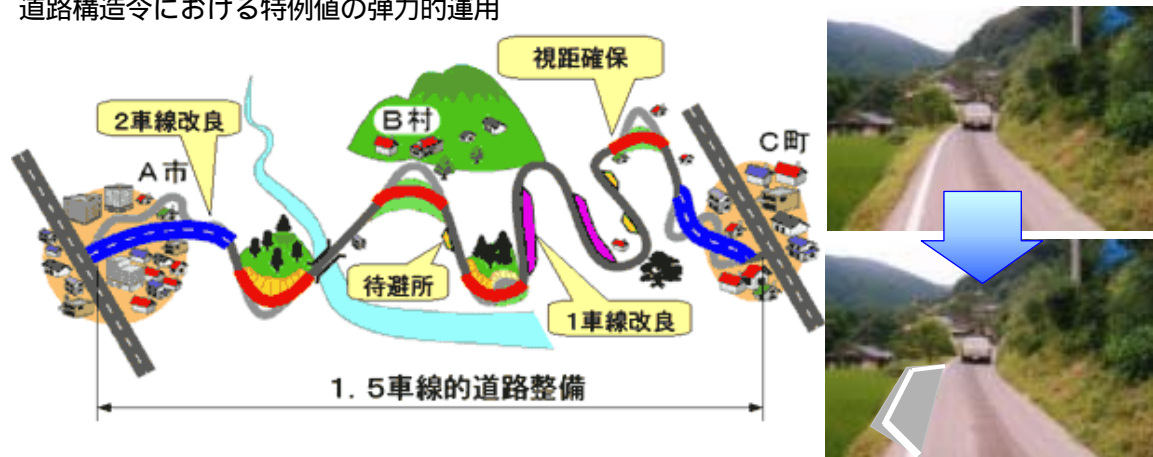
- ・ 客観的評価手法の導入
- ・ アウトカム指標の設定



#### (2) 地域の実態に即した構造規格の弾力的運用

コスト縮減と整備効果の早期発現を目指し、整備路線に応じて道路構造令を弾力的に運用します。

- ・ 道路構造令における特例値の弾力的運用



#### (3) ストックを活用した効率的整備と既存施設の計画的修繕

道路整備を行う上で、既に整備された道路が有効に利用される施策を進めます。

- ・ 道路管理者間が密接に協力する体制の確立
- ・ 料金の弾力的運用による有料道路の有効利用
- ・ 違法駐車や違法看板等の排除
- ・ 路上工事の徹底管理による頻度と期間の短縮
- ・ 交通管理者との連携による効率的な交通規制の実現
- ・ アセットマネジメント（資産管理）の適用

## 2. わかりやすく、愛着の持てる道づくり

行政の積極的な情報開示と計画段階からの住民参加や住民・企業・行政が一体となり役割分担しながらの道路管理など、住民が愛着を持てる道路政策を推進します。

### (1) オープンな行政運営と意思決定に対する住民参加の推進

行政情報を公開し、道路整備における計画段階での住民参加を進めます。

- ・ 広報紙等による広報活動の充実
- ・ 積極的な道路情報の提供
- ・ 計画段階におけるP I（パブリックインボルブメント）の実施
- ・ P F I導入の検討

### (2) 住民が愛着を持ち守り育てるシステムの形成

道路に愛着が持てるように、地域住民やN P Oと連携した道路管理の取り組みを進めます。

- ・ ボランティアによる道路パトロール（マイロード登録者制度）
- ・ 地域住民やN P Oによる道路愛護活動
- ・ 企業等が行う道路管理（美知メセナ）
- ・ 道路の適正利用を目指した組織づくり



## 3. 自然環境や生活環境に配慮した道づくり

道路整備に伴う環境変化の最小化や生態系の保全・復元により、自然環境に配慮した道路整備を進め、環境の保全と自然との共生を図ります。

### (1) 自然環境への配慮

自然環境の改変を最小限に抑え、積極的に生態系の保全と復元を目指した道路整備を行います。

- ・ 自然環境への改変を最小に抑えるために、既に整備された道路を有効に活用した道路整備
- ・ 自然環境への影響に配慮した路線計画
- ・ 自然環境や景観に配慮し生態系への影響を最小限に抑えるエコロードの推進



### (2) 生活環境への配慮

路上作業や補修工事についても、沿道生活環境に配慮して実施します。

- ・ 騒音や振動等の少ない工法の採用
- ・ 占用工事を含めた路上工事期間の短縮

## ・各地域の道路整備計画

道路整備マスタープランを基本に、地形や気象条件、人口や産業の集積状況、多様な交通需要などの地域毎に異なる特性を考慮した各地域の道路整備計画を策定するものとします。

具体的には、地域別のアクションプログラムとしての県内各地域の特性や住民ニーズを反映した地域の道路整備の実施計画を、地域住民や道路利用者、道路管理者等で議論し、公表していくものとします。

- ・ 住民や道路利用者、道路管理者等で組織する懇話会等の実施
- ・ 地域のニーズや特性の把握
- ・ 対象事業の抽出と優先順位の検討

### アクションプログラムの内容

- ・ 対象道路 高速道路、国道、県道、主要な市町村道、都市計画道路
- ・ 実施箇所 工区など
- ・ 実施時期 着手時期もしくは完了時期（前期／後期）
- ・ 対象期間 10箇年（前期5箇年／後期5箇年）



## 用語集

### 3 K

今後、滋賀県が施策の中心に据える環境（Kankyou）、健康福祉（Kenkou-fukushi）、観光（Kankou）の頭文字（K）をとって名付けたキャッチフレーズ。

#### IT [ Information Technology : 情報技術 ]

情報通信技術からその応用利用場面まで広く使用され、コンピューターやインターネットの進化と広がり、工学的技術から企業経営、人文・社会科学、コミュニケーションまでその応用範囲を広げている技術・手法の総称。

#### ITS [ Intelligent Transport System : 高度道路交通システム ]

最先端の情報通信技術を利用し、安全性・輸送効率などの最適化を目指す新しい道路交通システムの総称。

#### NO<sub>x</sub> [ 窒素酸化物（ノックス） ]

空気中の窒素酸化物のことで、その大部分が燃焼によって発生する。主な発生源は工場や自動車、ガソリン車よりもディーゼル車の方が多量のNO<sub>x</sub>を発生する。

#### NPO [ NonProfit Organization : 非営利組織 ]

政府・自治体や私企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで社会的な公益活動を行う組織・団体。特定非営利活動法人。非営利団体。市民活動法人。市民事業体。

#### PFI [ Private Finance Initiative : プライベート-ファイナンス-イニシアティブ ]

民間の参加とこれによる市場原理の導入により、社会資本の効率的整備と、国・地方公共団体の現在及び将来の財政支出の有効活用を図り、もって社会資本整備を促進することを目的とした事業手法。

#### PI [ Public Involvement : パブリック-インボルブメント ]

施策の推進にあたって、利用者のニーズを的確に行政に反映させるため、計画策定、意思決定、等の際して、広く意見・意思を述べる機会並びに、策定過程を知る機会を設ける住民参加の方法。

#### SPM [ Suspended Particulate Matter : 浮遊粒子状物質 ]

粒子状汚染物質のうち、粒子の直径が 10 μm 以下のもの。慢性の呼吸器疾患の原因とされる。

#### TDM [ Transportation Demand Management : 交通需要管理 ]

警察庁・国土交通省による、大都市の新交通政策の構想。駅周辺の駐車場を活用して、マイカーと公共交通機関の併用を促進し都心部の車の量の削減を図る。

#### VICS [ Vehicle Information Communication System : 道路交通情報通信システム（ビックス） ]

道路上に設置したビーコンやFM多重放送によって、走行中の一般自動車のナビゲーション-システムに渋滞状況・交通規制などの情報を知らせる機構。

#### アウトカム指標 [ outcome : 成果、結果 ]

事業効果を現す指標で、「バイパス整備により目的地への到達時間が 分短縮された」などの定量的効果。

## アセットマネジメント [ asset management : 資産管理 ]

会社の投資などの資産管理。

## インフラ (インフラストラクチャー [ infra-structure ] 社会的生産基盤)

生産や生活の基盤を形成する構造物。ダム・道路・港湾・発電所・通信施設などの産業基盤，および学校・病院・公園などの社会福祉・環境施設がこれに該当する。

## エコアップ

自然環境が失われた地域の生物的環境を改善するもので、単に、木を植え緑をふやすといったことだけではなく、より多くの生き物がそこに棲むための環境を整えていくこと。

## エコロード [ eco-road ]

生態系に配慮し、環境に対する影響を極力減らすべく設計された道路。動物が道路を横断するための施設や側溝に落ちた小動物がはい上がれる構造の採用などが挙げられる。

## 客観的評価手法

事業の優先順位を客観的に評価するため、事業目的や費用対効果などの項目を点数化した指標。

## 緊急輸送道路

大規模災害発生時に物資輸送路として確保されるべき道路。

## 高規格道路 (高規格幹線道路)

自動車専用道路として、高い走行サービスを提供する道路。

## コミュニティー道路

周辺に通過交通を処理する幹線道路が整備されている地域の道路において、通過交通の進入を抑制し、歩行者が安全かつ快適に通行できる交通環境を有する道路。

## 追加インターチェンジ

高速道路を有効に活用するため、現在供用中もしくは建設中の高速道路に開発事業者や地方公共団体が新しく設置するインターチェンジ

## 低床バス

乗降口の階段の高さを低く抑えるか、段差なしで乗降できるようにしたバス。

## 電線類地中化

安全で快適な都市空間の形成のために、電柱に架線されている全ての電線類 (電力線，通信線) を歩道の地下に埋設すること。

## 透水性舗装

雨水が地中に浸透することのできる舗装。都市部では水の循環を促し，寒冷地では路面の凍結を防ぐ。

## 道路構造令

安全かつ円滑な交通が確保できるように、道路の構造の一般的な技術的基準を示したもの。

## バイオ（バイオテクノロジー [ bio-technology : 生物工学 ] ）

生物を工学的見地から研究し、応用する技術。近年は特に、遺伝子組み換え・細胞融合などの技術を利用して品種改良を行い、医薬品・食糧などの生産や環境の浄化などに応用する技術。

## バリアフリー [ barrier free ]

「障壁のない」という意味。建築設計などにおいて、段差や仕切りをなくすなど高齢者や障害者に配慮をすること。

## ヒートアイランド [ heat island ] [ 気温分布図に等値線が島の形を描くことから ]

都市部を中心にした高温域。風の弱いときに顕著になり、周辺地域よりも高温の空気が都市域をドーム状におおう。都市化に伴う地表面の人工的改変、大量のエネルギー消費などで熱がたまることがその成因。

## ポケットパーク [ pocket park ]

都市部などで、街の一角などに設けられる小公園。

## ボトルネック [ bottleneck : 隘路 ]

ビンの口が水の流量を制限していることから転じて、交通の流れを制限する隘路を指す。

## マイロード登録者制度

通勤、通学、買い物、営業活動等で通行する個人または団体に、道路の一定区間を定めて登録し、通行途中に道路の破損などの通行に支障となる状態を発見したときに、道路管理者へ通報するボランティア制度。平成14年度より滋賀県で試行を始めた制度。

## マルチモーダル [ multi-modal ]

効率的な輸送体系の確立と、良好な交通環境の創造を目指した、道路・航空・海運・水運・鉄道など複数の交通機関の連携交通施策。

## 道の駅

一般道路に設けられた、高速道路のパーキング-エリアのような休憩施設。駐車場・休憩所・トイレのほか、その地域の特産物の販売や観光情報の提供をするなどして人と地域の交流促進を図る。

## 美知メセナ

企業が文化・芸術活動に対し後援・資金支援を行うことを表す「メセナ」から、区間を決めて道路施設の除草や剪定・施肥・清掃等の管理を地域の企業が行う社会貢献として依頼する制度。現在滋賀県で制度化を検討中の制度。

## ライフライン [ lifeline ]

生活・生命を維持するために必要な水道・電気・ガス・通信などのネットワーク-システム。